

2025 年 12 月 17 日 全 8 頁

Indicators Update

2025 年 11 月貿易統計

主力の米国向け自動車の輸出が急回復し、貿易収支は黒字に転換

経済調査部 エコノミスト 秋元 虹輝

[要約]

- 2025 年 11 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+6.1%と 3 カ月連続で増加し、季節調整値も前月比+3.4%と 4 カ月連続で増加した。輸入金額は前年比+1.3%と 3 カ月連続で増加し、季節調整値も前月比+3.5%と 2 カ月ぶりに増加した。貿易収支は+3,223 億円と 5 カ月ぶりの黒字、季節調整値では+629 億円と 2 カ月連続の黒字となった。
- 11 月の輸出数量は前月比+3.5%と 2 カ月ぶりに増加した。地域別では、米国向け（同+12.7%）が急回復したほか、EU 向け（同+9.4%）、アジア向け（同+3.8%）も増加した。一方、アジア向けのうち中国向け（同▲8.0%）は中国経済の低迷などを背景に 2 カ月連続で減少した。
- 先行きの輸出数量は軟調に推移するだろう。旺盛な AI・データセンター関連需要を背景に、情報関連財は引き続き底堅く推移する一方、自動車や鉄鋼などを中心にトランプ米政権による追加関税（トランプ関税）の影響が継続するとみられる。米国の雇用環境の悪化や中国経済の減速、日中関係の悪化といった下振れリスクにも注意が必要だ。

【貿易金額】トランプ関税をめぐる不透明感が後退し、米国向け輸出に持ち直しの動き

2025 年 11 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+6.1%とコンセンサス（同+5.0%、Bloomberg 調査）を上回り、3 カ月連続で増加した（図表 1）。

輸出価格は前年比+5.6%と 4 カ月連続で上昇し、輸出数量は同+0.5%と 4 カ月ぶりに増加した。トランプ米政権による追加関税（以下、トランプ関税）をめぐる不透明感が後退したことを受け、5 月以降、同 2 桁台の減少が続いていた米国向けの輸出金額が同+8.8%と 8 カ月ぶりに増加に転じた。医薬品（同+115.5%）や鉱物性燃料（同+2588.9%）の輸出が増えたほか、主力の乗用車（同+1.0%）の輸出も回復した。輸出価格の上昇は、高付加価値製品の輸出が増えたことに加え、トランプ関税のコストを部分的に米国側に転嫁する動きも反映しているとみられる（巻末の「**輸出額の変化とその要因分解**」参照）。輸出金額の季節調整値は前月比+3.4%と 4 カ月連続で増加した（図表 2 左）。輸出価格（以下、数量と価格の季節調整値は大和総研による）は小幅に低下した一方、輸出数量が輸出金額を押し上げた。

輸入金額は前年比+1.3%と 3 カ月連続で増加した。エネルギー価格の低下を背景に輸入価格が同▲2.4%と 9 カ月連続で低下した一方、輸入数量が同+3.8%と 3 カ月連続で増加した（図表 1）。輸入金額の季節調整値は前月比+3.5%と 2 カ月ぶりに増加した。輸入数量、輸入価格はともに輸入金額を押し上げた（図表 2 右）。

貿易収支は+3,223 億円と 5 カ月ぶりの黒字となった。貿易収支の実勢を示す季節調整値は+629 億円と 2 カ月連続の黒字となった。輸入金額の伸びが輸出金額のそれを上回ったことで貿易収支の黒字幅はわずかに縮小した（図表 3）。

図表 1：貿易統計の概況

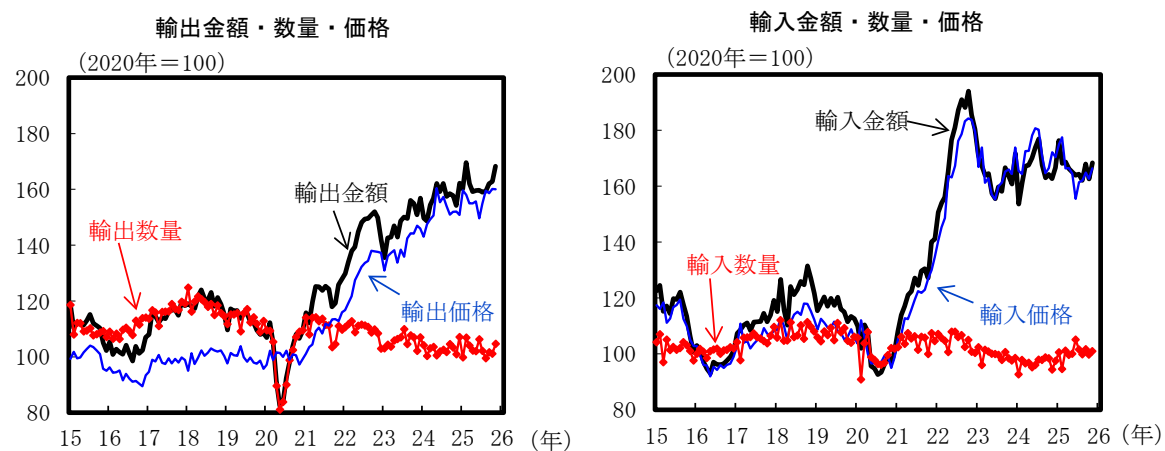
		2025年								
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原系列 前年比 %	輸出金額	4.0	2.0	▲1.7	▲0.5	▲2.6	▲0.1	4.2	3.6	6.1
	コンセンサス									5.0
	DIRエコノミスト予想									4.8
	輸入金額	1.8	▲2.2	▲7.7	0.2	▲7.5	▲5.5	3.0	0.7	1.3
	輸出数量	▲0.8	0.5	1.8	2.5	1.2	▲3.9	▲1.0	▲1.3	0.5
	価格	4.8	1.5	▲3.5	▲2.9	▲3.7	4.0	5.3	5.0	5.6
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	5.0	2.8	1.7	13.1	4.0	▲0.1	5.8	1.5	3.8
	価格	▲3.0	▲4.9	▲9.2	▲11.4	▲11.0	▲5.4	▲2.6	▲0.8	▲2.4
	貿易収支(億円)	5,543	▲1,284	▲6,425	1,476	▲1,232	▲2,502	▲2,425	▲2,261	3,223
	輸出金額	▲4.5	▲1.7	0.3	0.1	▲0.5	0.3	1.7	0.5	3.4
	数量	▲2.6	▲1.7	▲0.2	4.1	▲3.9	▲2.6	2.2	▲0.5	3.5
	価格	▲1.9	▲0.0	0.5	▲3.9	3.5	3.0	▲0.5	1.0	▲0.1
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	0.3	▲1.4	▲0.7	▲0.7	0.3	▲1.3	3.6	▲3.2	3.5
	数量	7.0	▲1.5	0.4	5.1	▲3.4	▲1.7	1.8	▲1.9	1.2
	価格	▲6.3	0.1	▲1.1	▲5.5	3.8	0.3	1.8	▲1.4	2.3
	貿易収支(億円)	▲3,113	▲3,349	▲2,427	▲1,711	▲2,405	▲923	▲2,745	740	629
	税関長公示レート	149.55	147.70	143.97	144.04	145.56	147.73	147.61	149.51	153.17

（注 1）税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスは Bloomberg。

（注 2）数量と価格の季節調整値は大和総研による。

（出所）財務省、Bloomberg より大和総研作成

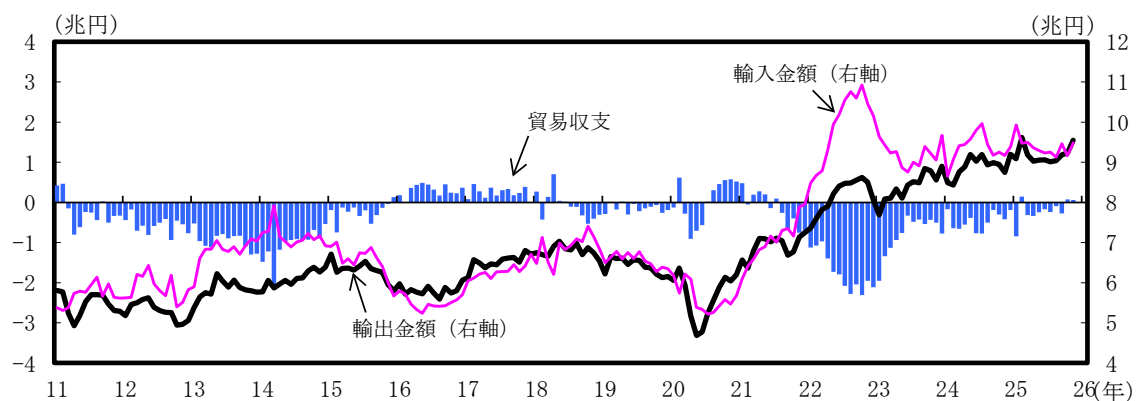
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】米国向けが急回復した一方、中国向けは内需の弱さを背景に軟調な動き

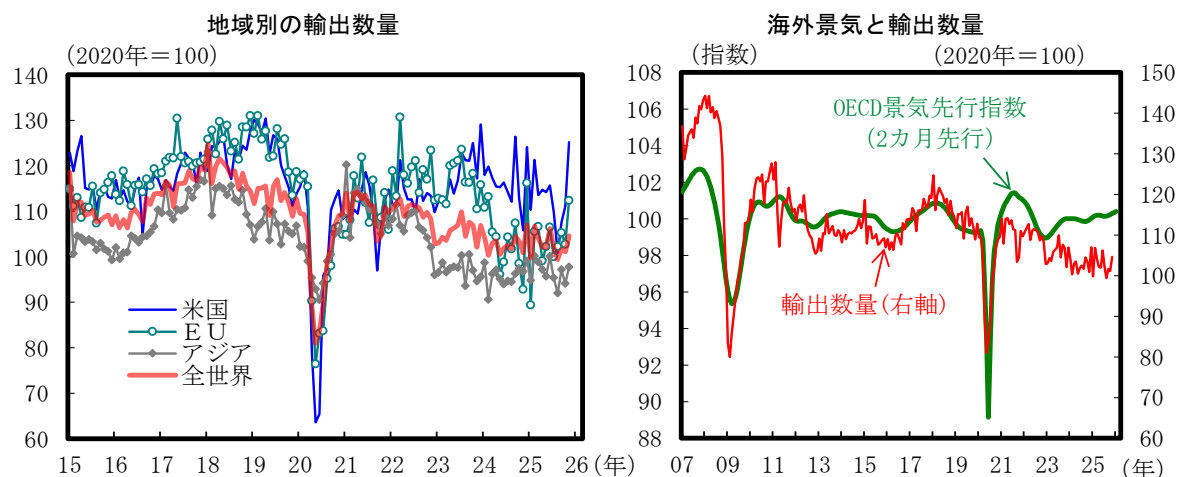
2025 年 11 月の輸出数量は前月比+3.5%と 2 カ月ぶりに増加した。地域別では、米国向け（同+12.7%）が急回復したほか、EU 向け（同+9.4%）、アジア向け（同+3.8%）も増加した。一方、アジア向けのうち中国向け（同▲8.0%）は中国経済の低迷などを背景に減少した。品目別では、アジア向けが好調な非鉄金属や、前月の反動で増加幅の大きなプラスチックが増加に寄与した。一方、中国向けが不調であった乗用車は減少した。振れを均すと、旺盛な AI・データセンター関連需要を背景に、情報関連財（半導体等電子部品、電算機類（含周辺機器）、半導体等製造装置など）は引き続き底堅い。

米国向けは 3 カ月連続で増加し、前月から加速した。品目別では、日本への自動車関税が 9 月 16 日に引き下げられ、輸入車の中での日本車の価格競争力が相対的に高まったことを背景に、乗用車や自動車の部分品で輸出数量の回復が進んでいる。そのほか、医薬品、鉄鋼、半導体等製造装置など広範な品目で増加が見られた。

アジア向けは 2 カ月ぶりに増加した一方、アジア向けのうち中国向けは 2 カ月連続で減少した。アジア向けは、AI・データセンター関連需要を背景に、情報関連財が底堅く推移した。一方、アジア向けのうち中国向けは、中国の内需の弱さを反映し、鉄鋼や乗用車などの景気に敏感な財で減少が目立った。乗用車はアジアを除く中国でも減少基調が見られ、中国メーカーとの競争激化を反映している可能性がある。

EU 向けは 2 カ月ぶりに増加した。景況感の改善を受けて自動車関連財（乗用車、バス・トラック、自動車の部分品）が増加したほか、AI・データセンター需要を背景に情報関連財も増加した。原動機の増加も目立った。EU 向けの原動機はこのところガスタービンの輸出が好調だ。ガス火力発電の建設ラッシュが背景にあるとみられる¹。

図表 4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注) OECD 景気先行指数 (CLI) は G20 ベース。輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD 統計より大和総研作成

¹ 欧州では 2025 年にガス火力を大量導入することが計画されている。詳細は、日本経済新聞 電子版「[世界でガスタービン争奪戦 需要増で日本が買い負け懸念](#)」〔日経ビジネス電子版 2024 年 12 月 6 日の記事を再構成〕（2025 年 1 月 16 日）を参照。

【見通し】 トランプ関税と米中景気の下振れ・日中関係悪化リスクが日本の輸出の重しに

先行きの輸出数量は軟調に推移するだろう。旺盛な AI・データセンター関連需要を背景に、情報関連財は引き続き底堅く推移する一方、自動車や鉄鋼などを中心にトランプ関税の影響が継続するとみられる。米国の雇用環境の悪化や中国経済の減速、日中関係の悪化といった下振れリスクにも注意が必要だ。

米国向けは、幾分軟調に推移するとみられる。足元ではトランプ関税からの持ち直しの動きが見られるものの、関税の影響が今後本格化する可能性に留意が必要だ。関税回避を目的とした米国での現地生産や現地調達が拡大すれば、日本からの輸出がさらに抑制されるだろう。また、米国では雇用環境が悪化傾向にあり、低所得者層を中心に消費が減速するリスクには注意が必要だ。さらに、日本の輸出企業や米国内の小売企業が関税のコストを米国の消費者へ転嫁する動きが広がれば、輸入インフレを通じて米国の消費を一段と下押しするだろう。

アジア向けは、横ばい圏で推移するだろう。このうち、中国向けはやや軟調な推移が見込まれる。2025 年 11 月 10 日、米国は中国からの輸入品に対する追加関税率を従来の 30% から 20% に引き下げたものの、不動産不況の継続や自動車・家電の補助金政策の反動などにより、中国の内需は依然として厳しい。そのため、中国内の生産能力拡大の影響も相まって、鉄鋼・プラスチックなどの素材製品で日本からの輸出が抑制されるとみられる。

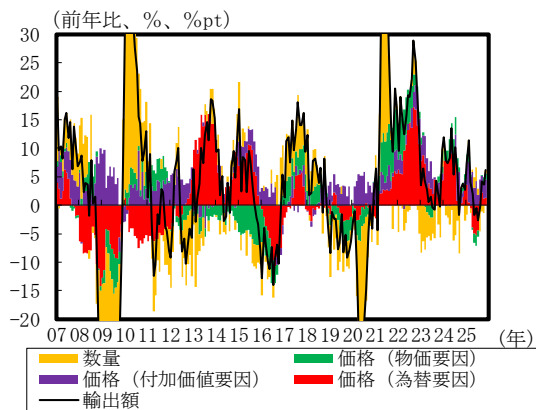
こうした景気の減速に加え、日中関係の悪化が長期化・深刻化するリスクも重要な懸念材料である。中国政府は、高市早苗首相の台湾有事をめぐる国会答弁に反発し、日本産水産物の事実上の輸入停止措置などを実施した。内需が弱い中で、中国政府が自国経済により大きな影響を与える追加措置に踏み切るかは不透明だ。しかし、今後更なる輸入規制や中国国内での不買運動などに踏み切れば、自動車などの消費財を中心に、日本の対中輸出に一段と下押し圧力がかかる可能性がある²。

欧州向けは、横ばい圏で推移するだろう。11 月のユーロ圏景況感指数（総合、欧州委員会）は、前月差 +0.2pt と小幅ながら 3 カ月連続で改善した。7 月に米国との通商協議が合意に達したこと、大規模投資を含むドイツの 2025 年度予算が 9 月末に成立したことなどを背景に、欧州の景況感はこのところ改善が続く。こうしたマインドの改善を反映する形で、欧州企業の生産活動や設備投資が拡大していけば、日本からの素材業種などの中間財や一般機械などの資本財の輸出を下支えするだろう。

² 日本が尖閣諸島を国有化した 2012 年には、反日感情の高まりから、自動車を中心に中国国内で日本製品の不買運動が広がり、国有化が実施された同年 9 月から 1 年間の対中実質輸出は前年同期比で約 10% 減少した。

概況

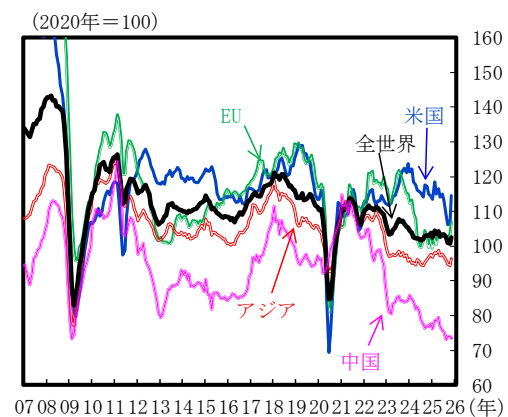
輸出額の変化とその要因分解



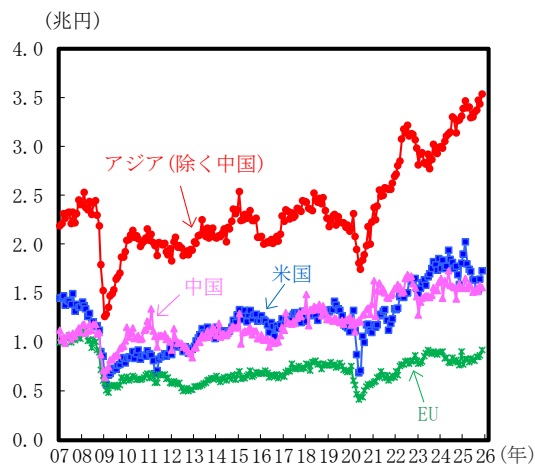
(注) 価格 (付加価値要因) は、輸出物価指数 (円ベース) で実質化した輸出額と輸出数量それぞれの増加率の差。価格 (物価要因) は、輸出物価指数 (契約通貨ベース) の上昇率。価格 (為替要因) は、輸出物価指数 (円ベース) の上昇率と価格 (物価要因) の差。季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

地域別の輸出数量 (季節調整値、3カ月後方移動平均)

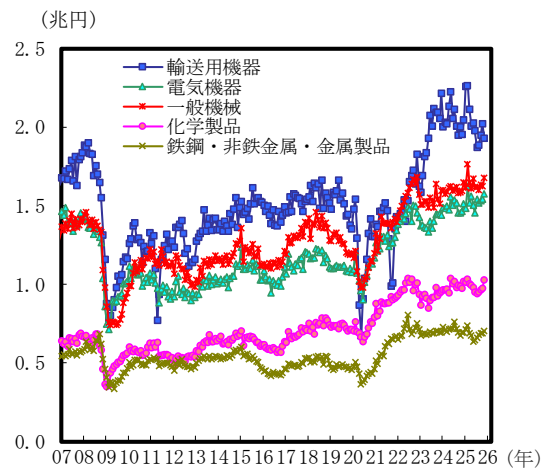


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

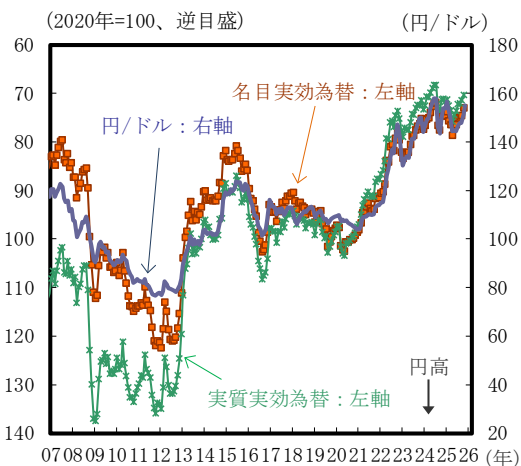


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

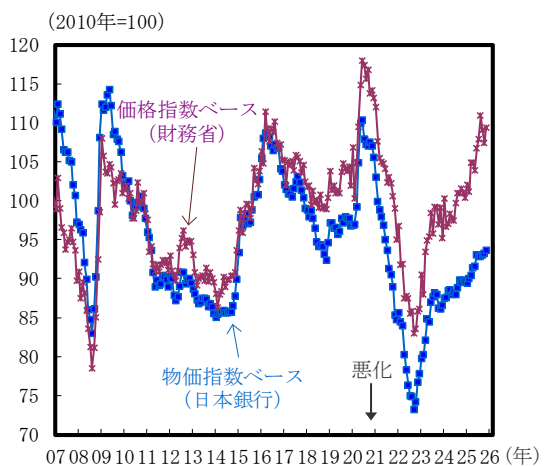
主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.5	▲2.6	▲0.1	4.2	3.6	6.1	100.0	6.1
食料品	20.2	16.2	18.4	18.9	13.2	10.9	1.3	0.1
原料品	▲4.2	1.2	1.1	26.5	21.3	15.5	1.8	0.3
鉱物性燃料	▲9.6	▲5.0	▲5.5	46.8	16.9	9.5	1.3	0.1
化学製品	▲5.2	▲7.3	▲3.0	▲3.1	▲1.6	5.6	10.5	0.6
原料別製品	▲8.0	▲10.0	▲5.3	▲0.5	2.4	1.2	10.0	0.1
鉄鋼	▲13.2	▲21.0	▲14.9	▲7.3	▲4.0	▲9.0	3.2	▲0.3
非鉄金属	▲12.3	▲4.3	5.6	8.4	10.0	14.8	2.6	0.4
金属製品	3.0	▲3.1	1.2	3.2	3.8	2.1	1.2	0.0
一般機械	1.7	1.2	▲1.3	3.5	2.3	5.1	17.0	0.9
電気機器	▲3.2	0.4	0.1	5.5	5.8	7.4	16.5	1.2
半導体等電子部品	▲3.4	4.5	5.7	12.6	15.8	13.0	5.9	0.7
I C	▲5.7	3.6	3.9	9.3	15.2	12.2	4.4	0.5
映像機器	▲14.4	▲8.9	▲21.5	▲12.2	▲7.5			
映像記録・再生機器	3.1	9.8	▲15.2	▲1.8	4.0	24.3	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲16.0	▲13.3	▲14.3	▲5.1	▲4.3	▲2.1	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	0.3	3.8	▲0.3	8.9	5.7	4.6	2.0	0.1
輸送用機器	▲3.6	▲11.5	▲5.9	0.1	1.1	▲2.4	21.0	▲0.6
自動車	▲7.3	▲11.4	▲7.9	▲0.6	0.4	▲4.1	15.6	▲0.7
自動車の部分品	▲8.7	▲12.1	▲12.6	▲4.9	▲6.8	▲7.3	3.0	▲0.3
その他	13.2	10.9	13.3	11.4	7.0	18.5	20.5	3.4
科学光学機器	▲6.4	▲4.0	▲10.3	▲5.8	▲5.5	▲0.5	2.4	▲0.0

米国向け輸出金額 内訳								
	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.4	▲10.1	▲13.7	▲13.3	▲3.1	8.8	100.0	8.8
食料品	24.8	11.5	13.6	0.5	10.9	20.0	1.2	0.2
原料品	▲9.1	▲13.0	▲65.6	▲35.1	▲1.1	3.6	0.4	0.0
鉱物性燃料	89.0	▲20.1	90.0	▲41.5	1813.2	2588.8	0.7	0.7
化学製品	▲10.3	▲5.7	▲6.0	▲17.8	▲18.2	48.0	8.6	3.0
原料別製品	▲6.7	2.4	0.4	▲6.1	9.6	2.3	5.8	0.1
鉄鋼	▲28.5	9.1	▲26.2	▲34.7	▲14.5	▲20.9	1.0	▲0.3
非鉄金属	18.0	▲11.8	41.4	11.2	33.0	▲5.6	0.8	▲0.0
金属製品	4.8	6.0	11.0	3.2	4.0	6.5	1.3	0.1
一般機械	▲6.9	▲6.3	▲17.6	▲8.7	▲3.6	▲1.1	21.3	▲0.2
電気機器	▲0.4	2.7	▲12.0	▲3.6	▲3.5	0.9	12.4	0.1
半導体等電子部品	▲21.9	▲8.7	▲12.4	▲15.9	▲20.4	▲14.2	0.9	▲0.2
I C	▲30.6	▲15.0	▲17.9	▲24.7	▲35.9	▲28.1	0.4	▲0.2
映像機器	3.0	42.4	▲44.2	▲20.2	▲14.1			
映像記録・再生機器	▲6.8	52.4	▲45.5	▲20.7	▲3.6	24.6	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	▲7.1	▲3.1	▲2.2	22.4	22.0	28.2	0.1	0.0
電気回路等の機器	▲3.3	10.7	▲11.6	5.9	11.3	0.5	1.2	0.0
輸送用機器	▲22.1	▲24.4	▲22.8	▲19.2	▲5.2	0.7	33.9	0.3
自動車	▲26.7	▲28.4	▲28.4	▲24.2	▲7.5	1.5	27.5	0.5
自動車の部分品	▲15.5	▲17.4	▲7.1	▲7.6	▲9.1	▲8.5	4.6	▲0.5
その他	▲6.4	4.9	7.0	▲16.8	2.9	35.6	15.7	4.5
科学光学機器	▲7.7	▲1.7	▲25.9	▲9.5	▲21.7	▲11.1	2.6	▲0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.6	▲3.4	5.6	5.0	9.2	19.6	100.0	19.6
食料品	20.9	20.4	7.0	25.5	33.1	78.2	0.8	0.4
原料品	10.3	30.8	▲12.7	▲2.4	▲4.0	36.9	1.2	0.4
鉱物性燃料	▲11.8	36.5	95.5	111.6	27.9	194.1	0.1	0.0
化学製品	▲15.5	▲7.7	▲4.9	▲16.4	▲16.6	▲3.1	10.2	▲0.4
原料別製品	▲3.7	▲17.9	▲4.3	▲13.8	18.9	25.2	6.2	1.5
鉄鋼	▲25.3	▲53.1	▲5.2	▲25.3	33.6	17.8	1.0	0.2
非鉄金属	21.4	44.2	2.6	5.1	21.7	17.0	1.0	0.2
金属製品	1.8	▲5.8	2.2	10.8	14.0	24.3	1.3	0.3
一般機械	▲1.0	0.1	9.4	17.1	18.5	29.1	19.4	5.2
電気機器	0.1	▲0.4	4.7	9.1	11.5	26.3	16.8	4.2
半導体等電子部品	10.4	15.6	36.8	15.1	41.9	20.7	2.4	0.5
I C	27.8	74.3	60.9	37.6	100.3	56.4	0.9	0.4
映像機器	6.6	▲2.2	▲18.7	▲6.9	13.7			
映像記録・再生機器	17.3	▲0.7	▲21.1	▲4.8	20.2	64.4	1.2	0.6
音響・映像機器の部分品	▲26.0	▲8.5	▲10.9	▲4.5	▲12.7	▲5.7	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	▲0.3	▲3.6	9.2	22.3	13.7	25.5	1.5	0.4
輸送用機器	15.0	▲2.4	8.8	6.1	5.7	23.7	28.2	6.5
自動車	20.1	▲2.8	6.2	9.1	▲0.2	25.7	20.3	5.0
自動車の部分品	▲6.2	▲13.7	▲15.1	▲8.3	▲1.1	12.2	3.6	0.5
その他	15.7	▲3.6	9.9	9.9	16.8	9.1	17.1	1.7
科学光学機器	3.7	5.4	▲14.7	4.1	5.8	1.3	4.2	0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	1.7	▲0.2	1.7	9.2	4.2	4.5	100.0	4.5
食料品	9.6	10.9	12.7	12.2	10.4	2.2	1.5	0.0
原料品	▲6.2	1.4	14.5	36.6	24.9	16.4	2.8	0.4
鉱物性燃料	16.2	2.6	▲31.2	49.7	5.6	▲6.2	1.6	▲0.1
化学製品	▲2.9	▲5.3	▲2.6	2.2	0.8	▲0.4	13.6	▲0.1
原料別製品	▲9.9	▲9.3	▲8.0	▲1.2	0.5	0.3	12.7	0.0
鉄鋼	▲14.2	▲19.2	▲20.9	▲11.0	▲5.5	▲11.2	3.9	▲0.5
非鉄金属	▲16.0	▲4.5	2.9	7.0	6.9	14.2	4.1	0.5
金属製品	3.9	▲5.3	▲4.5	1.9	3.2	1.1	1.3	0.0
一般機械	6.3	5.0	4.6	4.2	1.7	3.1	17.1	0.5
電気機器	▲2.3	0.5	2.6	7.2	7.3	6.8	21.5	1.4
半導体等電子部品	▲3.0	4.6	5.7	14.0	16.9	14.1	10.2	1.3
I C	▲5.0	3.6	3.9	10.2	16.1	12.7	7.8	0.9
映像機器	▲25.1	▲24.4	▲15.5	▲15.8	▲11.4	6.6	0.3	0.0
映像記録・再生機器	▲3.6	▲8.6	2.7	0.9	▲3.9			
音響・映像機器の部分品	▲20.1	▲17.7	▲15.6	▲14.3	▲12.6			
電気回路等の機器	2.0	4.2	1.2	8.3	3.4			
輸送用機器	2.7	▲14.1	▲5.9	20.0	▲2.7	▲1.1	7.1	▲0.1
自動車	▲4.3	▲5.9	0.5	28.6	9.1	▲6.4	4.0	▲0.3
自動車の部分品	▲4.1	▲11.3	▲17.1	▲6.6	▲6.2	▲9.1	2.1	▲0.2
その他	13.8	10.7	12.9	18.4	7.9	11.2	22.1	2.3
科学光学機器	▲7.3	▲8.1	▲3.5	▲7.6	▲3.2	3.3	2.6	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09	2025/10	2025/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.7	▲3.5	▲0.5	5.8	2.1	▲2.4	100.0	▲2.4
食料品	27.8	7.0	7.3	7.7	0.3	▲5.9	0.6	▲0.0
原料品	20.9	38.4	68.2	65.6	56.9	27.9	4.5	1.0
鉱物性燃料	36.6	70.5	31.2	33.1	10.7	0.7	1.5	0.0
化学製品	0.6	1.2	2.5	6.7	2.8	▲1.0	18.3	▲0.2
原料別製品	▲17.7	▲11.5	▲9.0	▲0.4	▲3.4	▲13.9	10.4	▲1.6
鉄鋼	▲13.4	▲17.4	▲10.6	▲5.4	▲6.3	▲7.6	2.3	▲0.2
非鉄金属	▲29.4	▲14.4	▲13.3	▲4.0	▲7.9	▲26.8	3.4	▲1.2
金属製品	▲10.0	▲8.6	▲7.5	5.2	2.1	▲10.0	1.4	▲0.1
一般機械	▲1.9	0.8	▲3.1	4.2	▲5.0	▲6.1	22.0	▲1.4
電気機器	▲8.3	▲7.3	▲5.1	0.8	3.0	1.7	21.3	0.3
半導体等電子部品	▲8.5	▲4.1	1.8	15.6	18.9	22.8	8.1	1.5
I C	▲11.6	▲10.1	▲2.2	7.4	14.9	21.1	5.7	1.0
映像機器	▲20.0	▲18.8	▲18.1	▲20.5	▲17.2	▲11.0	0.5	▲0.1
映像記録・再生機器	2.8	▲18.9	▲7.8	▲9.2	▲17.4			
音響・映像機器の部分品	17.9	8.9	▲5.0	2.0	▲11.3			
電気回路等の機器	0.5	1.6	▲3.9	6.0	▲1.9			
輸送用機器	▲14.4	▲19.9	▲16.0	12.3	7.8	▲14.7	6.4	▲1.1
自動車	▲11.4	▲17.7	▲6.7	28.8	23.1	▲6.3	4.3	▲0.3
自動車の部分品	▲16.2	▲23.9	▲29.6	▲15.1	▲15.9	▲28.3	1.9	▲0.7
その他	▲1.3	▲4.5	8.9	5.5	1.7	4.4	15.1	0.6
科学光学機器	0.1	▲6.0	▲3.6	▲7.7	▲2.1	7.5	3.9	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成